

2012（平成 24）年度 東京都写真美術館 自主企画展



シリーズ「Diary」より ※参考図板

操上和美 — 時のポートレート

ノスタルジックな存在になりかけた時間。

Kurigami Kazumi - portrait of a moment

2012 年 9 月 29 日（土）～12 月 2 日（日）
東京都写真美術館2階展示室

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／朝日新聞社
協賛：LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン株式会社 タグ・ホイヤー ディヴィジョン／
TUGBOAT／株式会社ジョン ロブ ジャパン／株式会社 聖林公司／ライカカメラジャパ
ン株式会社／株式会社ピラミッドフィルム／東京都写真美術館支援会員
協力：株式会社サイバーグラフィックス／株式会社写真弘社／フォト・ギャラリー・インタ
ーナショナル／富士フィルムイメージングシステムズ株式会社／有限会社イマジン・ア
ートプランニング

時代を牽引するイメージというものがある。

広告写真界の鬼才、操上和美（1936～）は、1970 年代から常に新しい感覚を写真、映像に取り込んできました。日産「フェアレディ Z」、ソニー「ジャッカル」、サントリー「オールド」、ブリヂストン「レグノ」、NTTデータ通信「ホーキング博士」等の CM や、ロバート・フランク、笠智衆、キース・リチャーズ等のポートレート、初の映画作品となった「ゼラチンシルバー LOVE」（2009）等、私たちの記憶に残るイメージは枚挙にいとまがありません。次々と脳裏に焼き付くイメージを生み出す作家の感性はどのように鍛錬されたのでしょうか。

本展覧会では、操上が 1970 年代から現在まで自らの作品として撮りためてきた日常のスナップショットから、鮮烈な美意識に貫かれた作家の写真眼に迫ります。風化した記憶のようなモノクロ写真と強烈な色彩のカラー写真のコントラストが印象的なシリーズ「陽と骨」や、自らの故郷へと旅をする「NORTHERN」等、ライフワークを中心に数万点の中から選ばれた作品を展示します。展覧会ロビーでは、357 点の作品をあえてコピーで制作したポートフォリオ『Diary』（2005）の全作品をご覧いただける貴重な特設コーナーもございます。

「被写体は愛の対象物だ」と作家はたびたび口にします。作品は愛と時の集積とも言えます。操上和美の感性の氷山の一角にぜひ触れてみて下さい。写真を通して、時、存在、関係について新たなヒントが得られる機会となるでしょう。

<開催概要>

観覧料 一般 700(560)円、学生 600(480)円、中高生・65 歳以上 500(400)円

※()は 20 名以上の団体料金および東京都写真美術館友の会会員割引料金

※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料 ※第 3 水曜日は 65 歳以上無料

会 場 東京都写真美術館 2 階展示室

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話 03(3280)0099 ホームページ <http://www.syabi.com>

開館時間 10:00～18:00（木・金は 20:00 入館は閉館の 30 分前）

休館日 毎週月曜日 ※ただし 10 月 1 日（都民の日）は開館、翌 2 日は休館。10 月 8 日（月・祝）は開館、翌 9 日（火）は休館

交通機関 JR 恵比寿駅東口より徒歩約 7 分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約 10 分

当館には専用の駐車場がありません。お車でご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

＜出品作品＞

出品総数 70 点

(写真作品 68 点＋アーティストブック 2 冊)

■シリーズ「陽と骨 HITOHONE」

1980 年代に発表され、日常をみつめる作家の鋭い感性を世に知らしめた代表作。

写真を思考ではなく、視界の世界に泳がせること。写真を通してなにかを伝えるのではなく、写真を写真として見せること。操上和美の写真はそういう写真である。

—— 中原佑介「目と記憶」、『陽と骨』
(PARCO 出版、1984 年) より



上) 《海を見る》 シリーズ
＜陽と骨＞より 1976 年
中) 《無題》 シリーズ＜陽と
骨＞より 1981 年
下) 《夢を見る猫》 シリーズ
＜陽と骨＞より 1979 年



■シリーズ「NORTHERN」

作家の故郷、北海道への幾度かの旅をまとめたシリーズ。ロバート・フランクを伴った電車の旅や、父母への想いを辿る風景など、前編モノクロの作品集からは写真を通した世界観、記憶などが甦る。



左) 《無題》 シリーズ
＜NORTHERN＞より
1999 年 6 月
右) 《冬の庭》シリーズ
＜NORTHERN＞より
2012 年 1 月

南の果ては出会いでしょう。北の果ては別れじゃない。それだけ違うよ。

—— 荒木経惟 “ルーージュでの対談”、『NORTHERN』(Switch Publishing 2002 年) より

■シリーズ「Diary」

1970 年から撮りためてきた写真から 357 点を選んでまとめた作品集。プリントから複写したコピーで制作した私家版。

シャッターを押す瞬間は、“あっ、いい”と感じたとき。そこにあたっている光がいいのか、光があたっているそのものもいいのか.....どちらかは言えないんだけど、何かが僕感覚を刺激する。逆にいえば、その対象に惹かれる自分を愛した瞬間ともいえる。そうして自分と被写体のリレーションができると、さらに惹かれるんだよね

—— 操上和美 ウェブマガジン「OPENERS」インタビュー (2009 年) より



《明日を見る家族》
シリーズ＜陽と骨＞より
1974年

＜関連イベント＞

① 対談 椎名誠(作家)×操上和美

10月14日(日)14:00-15:30 1階ホール(定員190名)

対象:「操上和美一時のポートレート」展チケットをお持ちの方

受付:先着順、当日10:00より1階受付にて入場整理券を配布します

開場:13:30(整理券番号順／自由席)

② 展覧会関連上映会

操上和美ドキュメンタリー映画「THE MOMENT 写真家の欲望」

監督:宮本敬文 制作:ウィスキースタジオ／アトムエックス／サイレントフィルム

上映日:11月22日(木)～24日(土)、29日(木)～12月2日(日)

上映時間:各回19:05～20:05 1階ホール(定員190名)

料金:大人1000円 学生700円

受付:当日券は10:00より1階ホール受付で販売します(入場整理番号付き)

整理券番号順入場／自由席 ※未就学児の入場不可 ※当日券のみの販売となります

上映関連対談 宮本敬文×操上和美

11月22日(木)18:00～19:00／12月2日(日)18:00～19:00

※当日の映画鑑賞券にてトークショーをご鑑賞いただけます

www.themoment.jp.net(映画ホームページ) お問い合わせ:info@themoment.jp.net

③ 担当学芸員によるフロアレクチャー

会期中の第2・第4金曜日14時より担当学芸員による展示解説を行います。

本展覧会チケット(当日日付印)をお持ちの上、2階展示室前にお集まりください。

＜展覧会カタログのご案内＞

本展の開催に合わせて、作家の椎名誠氏のテキストや、全出品作品の図版を掲載した展覧会カタログを発行します。

「操上和美一時のポートレート ノスタルジックな存在になりかけた時間。」

発行:東京都写真美術館 A4変形 128ページ 2,200円(税込)

東京都写真美術館ミュージアムショップ ナディッフ バイテンにて販売します。03-3280-3279

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 電話:03(3280)0034

展覧会担当 丹羽晴美 h.niwa@syabi.com 山峰潤也 j.yamamine@syabi.com

広報担当 久代明子 a.kushiro@syabi.com 平澤綾乃 a.hirasawa@syabi.com

前原貴子 t.maehara@syabi.com

プレス掲載用に図版データをご用意しています。上記広報担当までお問い合わせください。